子宮頚部レーザー円錐切除手術クリニカルパス

氏名

経過	手術当日　/		手術翌日（退院日）　/
観察	手術前の体調を確認します。	看護師が定期的に体温・血圧・症状の変化を観察していきます。 痛み・吐き気が強い時は遠慮せず言ってください。	
安静	病棟内にいるようにしましょう。	手術後からベッド上です。 足の感覚がもどり次第歩行できます。 初回は看護師が付き添います。	制限はありません。
食事	前日21時から絶食、 当日朝6時から絶飲食。	手術後、看護師が観察後、水分をとることができます。 夕食から普通食または治療食が開始されます。	普通食または 治療食が出ます。
清潔	手術の日はシャワーには入れません。 手術前に歯磨きをしてください。		退院後シャワー浴ができます。
排泄	手術前にトイレを済ませてください。	足の感覚がなければベットの上で尿器で取ります。 足の感覚がもどれば、トイレに行けます。 （初回は看護師が付き添います。）	トイレに行くことができます。
診察 処置		手術後は歩行の様子・排尿の有無を確認します。	退院前の診察を行います。 （内診することがあります。）
薬物 療法	手術が午後の場合、脱水予防の目的で点滴を行います。	手術後点滴を2本行います。	
説明	入院後、術前のオリエンテーションを行います。	飲食再開時間や初回歩行について説明を行います。	退院療養計画書の説明に 沿って説明を行います。
目標	手術の目的・内容が理解できる。	痛み・吐き気があればコールが押せる。	異常な出血・痛みがない。 退院後の注意点がわかる。

症状・経過によっては、スケジュール通りにならない場合があります。

2005年12月　作成　（2019年7月13日　改訂）　パス委員会承認　聖隷浜松病院　C8病棟